研修実施企画書

人事・事業部門の研修企画・社内稟議に

企画職研修

顧客や利用者を理解し、
新たな価値を生む企画をつくる



顧客・利用者の行動と実施する人の仕事を確かめ、必要とされる価値を考えます。案の比較と試行、関係者との協力を通じて、企画を具体化する力を養います。

2回 × 4時間
研修と職場実践

13場面
同じ場面で前後比較

45行動
全116習慣から選定

身につける行動と、その背景

行動を練習し、何を見て判断し、何を大切にしたかを振り返ります。

行動

実際にどう対応するか

・顧客・利用者の必要と可能性を捉える
・案を比較し、反応から見直す
・関係者と協力して実行につなげる

思考

何を見て、どう考えるか

顧客や利用者の行動、実施者の経験、案を試した反応を確かめ、価値の仮説と企画の前提を見直す。

価値観

何を大切にして選ぶか

顧客や利用者に新たに役立つことと、実施する人が取り組めることを大切にする。

学びの進め方　**職場で試した反応と結果から、次の判断・行動を見直す。**

研修前から、研修後の診断まで

実施決定後に対象者の現在地を把握し、2回の研修と職場での実践をつなぎます。

1 事前アセスメント



13場面で
現在地を確認

2 1回目・4時間



対話で判断と
行動を練習

3 実践課題



試した行動と
相手の反応を
記録する

4 2回目・4時間



条件を変えて
判断した理由を
話す

5 事後アセスメント



終了直後に
同じ設問へ回答

6 弊社の診断・報告



回答と記録を
照合し、支援を
提案する

事後は2回目の研修終了直後。前後とも各時点までの直近4週間の仕事を振り返ります。

1回目の研修｜判断と行動を練習

4時間。事前回答をもとに、重点的に練習する行動を決めます。

顧客・利用者を理解し、価値を生む案を考える

01 顧客や利用者の行動、実施する人の経験を確かめる。

02 誰に何を届けると役立つかを考え、複数の案を比べる。

03 関係者への相談・依頼と、企画の前提の見直しを練習する。



目的・条件

選択肢・判断

報告・相談

次につなぐもの　**価値の仮説・比較する案・試して確かめること**

職場での実践｜試し、反応を確かめる

2回の研修の間に、受講者の実際の仕事で取り組みます。

案を小さく試し、
利用する場面の反応を見る

01　顧客・利用者の必要と、新たに届けられる価値を捉える。

02　案を比較し、試した反応から企画を見直す。

03　関係者が判断し、実行できる形に企画を整える。



試した行動	相手の反応	予想と結果の違い

次につなぐもの　三つの育成テーマの実践記録・相手の反応・確認に使うやり取りや資料

2回目の研修｜結果から改善する

4時間。実践した結果を持ち寄り、判断の理由も振り返ります。

仮説と前提を見直し、企画を具体化する

01 三つのテーマの記録から、予想と実際の違い、判断した理由を確かめる。

02 条件を変えたケースで判断を練習し、次に変える複数の行動を決める。

03 ケースで変わった条件、選んだ理由、次に確かめることを説明する。



分かったこと	変える対応	必要な支援

次につなぐもの　**ケースで確認した判断と、次の仕事で試す複数の行動**

効果を測り、次の育成へつなぐ

上位5%の参考となる対応との違いが、研修前後でどう変わったかを確認します。

研修前

直近4週間の行動・思考・価値観を確認。重点的に練習する行動を決めます。

2回目終了直後

事前と同じ設問に回答。研修間の業務記録と、2回目のケースで示した判断を照合します。

受講者へ

個別成長シナリオ

できるようになったこと、残る課題、次に試す行動と必要な支援を示します。

研修担当者へ

個別結果と全体の提案

全体の人材育成課題と解決策、支援する人・方法、変化を確かめる時期を示します。

同じ人・同じ行動で照合。実践機会なし、根拠の確認待ちも示します。

上位5%の習慣を、実践検証から

小さな認識のずれを残さず、相手の意図を確かめ、自分の理解を返す。

仕事の行き違いに占める割合

68〜72%

日々の会話で生じる、小さな認識のずれが占める割合。

迷い・やり直し・再説明

最大で約3.2倍

認識のずれを残した場合に、後から生じる迷いなどが増えた倍率。

意思決定の精度

35〜40%低下

認識のずれを残したまま話が進むと、精度が下がる傾向。

当社の実務観察に見られた傾向です。本研修による改善率を示す数値ではありません。

最低1年・基本3年の観察、さらに7年間の検証も。

980社・延べ33.8万人は、研修・実務支援・行動観察の累積規模です。全社を同条件で7年間追跡したことを意味しません。

実施条件を整え、社内で検討する

人数・日程・実施方法・費用は、育成課題と対象者に合わせて個別に調整します。

対象部署・対象者

社内記入欄

人数・実施希望時期

社内記入欄

実施方法・場所

対面／オンライン等を個別調整

研修間の実践期間・事後測定日

期間は実務に合わせて調整。事後測定は2回目終了直後

費用・申請予算

個別見積。社内の予算欄へ記入



研修の副読本

行動を選ぶ理由と、
思考・価値観を読み返す。

『980社・33.8万人の行動データが教える「エース社員」がやっている習慣116』

甲畑智康 著／東洋経済新報社
2027年1月5日発売予定

関連研究：8分野・67本を公開

対象・方法・限界、研修との接点をサイトで確認できます。

実践課題1｜企画職研修

顧客・利用者の必要と可能性を捉える

顧客・利用者の必要と、新たに届けられる価値を捉える。

職場で試す複数の行動

01 顧客・利用者が何を実現したいかを確かめる。

02 直接会えない相手も、記録や担当者から反応を確かめる。

03 観察した事実と、提供する価値の見立てを整理する。

2回目の研修で学び直す

予想と違った使われ方から、誰へのどんな価値が見えてきましたか。

条件を変えたケース

試作品が、想定と異なる用途で使われました。次に何を確かめますか。

次の仕事で試す **別の利用場面でも反応を確かめ、企画の前提や届ける価値を見直す。**

三つのテーマで全45行動を対応づけ。このテーマは12行動。詳細は後半の13場面一覧へ。

実践課題2｜企画職研修

案を比較し、反応から見直す

案を比較し、試した反応から企画を見直す。

職場で試す複数の行動

01 案を比べる条件と、確かめたい問いをそろえる。

02 事実・未確認・自分の見立てを分けて検討する。

03 試した結果や指摘を受け、次に確かめる案を選ぶ。

2回目の研修で学び直す

試した結果で、残す条件と変える条件はどう変わりましたか。

条件を変えたケース

利用者の反応はよい一方、実際の利用が続きません。次にどうしますか。

次の仕事で試す　**次の試作や検討で、変えた案を別の条件でも試し、反応を確かめる。**

三つのテーマで全45行動を対応づけ。このテーマは15行動。詳細は後半の13場面一覧へ。

実践課題3｜企画職研修

関係者と協力して実行につなげる

関係者が判断し、実行できる形に企画を整える。

職場で試す複数の行動

01 相手が次に説明・判断するための材料をそろえる。

02 任せる範囲・担当・期限・相談条件を確かめる。

03 協力の結果と相手の反応を返し、次の対応を残す。

2回目の研修で学び直す

企画への合意後、誰が何を判断できると着手が進みましたか。

条件を変えたケース

企画は承認されましたが、担当部署が着手できません。次に何を確かめますか。

次の仕事で試す **次の企画調整でも、比較条件と実行条件をそろえ、着手後の反応まで確認する。**

三つのテーマで全45行動を対応づけ。このテーマは18行動。詳細は後半の13場面一覧へ。

13場面で扱う、対象の行動

企画職研修｜全45行動。各場面の一文と、採用した習慣を確認できます。

01 仕事を始める

企画に関わる人や仕事の流れを図にし、考えが止まっている点を整理する。

習慣4 考えが止まったら、関係や流れを図にする

02 仕事を受ける

企画を誰が何に使うかを確かめ、利用者や実施者の反応を記録や担当者から捉える。

習慣81 受け取った依頼を、自分が理解した形で返す

習慣82 何に役立つ仕事なのか、名前をつけて捉える

習慣83 誰が、どの場面で使うのかを確かめる

習慣84 直接会えない相手の反応を、記録や担当者から確かめる

13場面で扱う、対象の行動

企画職研修｜全45行動。各場面の一文と、採用した習慣を確認できます。

03 メール・チャット

企画のどこを見て、何をしてほしいかを明記し、関係者に確認や協力を求める。

習慣66 相手にしてほしいことを、連絡に明記する

習慣70 資料のどこを見てほしいか、具体的に伝える

04 会議

異なる前提や懸念を聴き、利用者・実施者の立場から案の条件を確かめ直す。

習慣19 自分の説明を短くし、相手が考える時間を取る

04 会議（続き）

習慣20 相手が懸念しそうなことを、事前に整理する

習慣21 賛成が続いたときにも、別の立場から確かめる

習慣22 意見が異なるとき、それぞれの前提を確かめる

習慣25 発言する前に、その場で足りていない情報を確かめる

習慣26 黙っている相手が、話し始めるきっかけをつくる

習慣27 相手が使った言葉を、そのまま使って話をつなぐ

13場面で扱う、対象の行動

企画職研修｜全45行動。各場面の一文と、採用した習慣を確認できます。

04 会議（続き）

習慣28 その場の違和感を、あとで確かめるために書き留める

習慣29 会議や商談の後に、その場で言いにくかったことを聞く

習慣32 相手が繰り返し使った言葉をメモし、次の準備に生かす

05 相談

企画の仮案を用意し、各案で得られることと難しくなることを比べて相談する。

習慣57 相談する前に、いま考えている仮の案を用意する

習慣59 それぞれの案で得られることと、難しくなることを示す

13場面で扱う、対象の行動

企画職研修｜全45行動。各場面の一文と、採用した習慣を確認できます。

06 人に頼む

企画を試す条件と相談の余地を整え、協力した人の反応から進め方を見直す。

習慣86 相手が仕事を始められるよう、必要な情報をそろえる

習慣87 頼む前に、難しい場合の別案を用意する

習慣88 進めにくいときは、途中でも伝えてよいと添える

習慣89 最初に取りかかる作業を、小さくして頼む

習慣90 相手の協力が、何に役立ったかを伝える

習慣92 対応が食い違ったら、自分が伝えた前提を見直す

07 報告

企画案の比較条件と数字の意味を示し、何を判断してほしいかを明確にする。

習慣36 相手に何を決めてほしいかを、報告前に整理する

習慣37 数字に、仕事の状況を読み取るための意味を添える

習慣38 相談する選択肢を二つまでに絞り、比べる点を明らかにする

13場面で扱う、対象の行動

企画職研修｜全45行動。各場面の一文と、採用した習慣を確認できます。

08 トイレ・休憩

関係者への言い方と反応を振り返り、いま決めることと後で決めることを分ける。

習慣45 自分の言い方を、相手の反応とともに振り返る

習慣46 焦ったときは、今決めることと後で決めることを分ける

09 トラブル対応

企画や実施に及ぶ影響を確かめ、分かっていることと未確認の点を分ける。

習慣51 原因を説明する前に、影響する範囲を確かめる

習慣55 分かっていることと、まだ分からないことを分ける

13場面で扱う、対象の行動

企画職研修｜全45行動。各場面の一文と、採用した習慣を確認できます。

10 忙しいとき

企画に必要な仕事を見極め、忙しさを作業量・判断の迷い・待ちに分けて整理する。

習慣93 作業を増やす前に、相手が実際に必要としていることを確かめる

習慣94 頼まれた作業が、誰の何に役立つかを捉える

習慣98 忙しさを、仕事の量・迷い・待ちに分けて捉える

11 注意されたとき

利用者や関係者の指摘を、企画の内容や進め方で変えられる行動として受け止める。

習慣101 指摘を受けたら、次に直すところを聞く

習慣102 指摘を、次に変えられる行動として捉える

12 退勤前

未確認の点と次に確かめることを残し、翌朝に着手する企画の作業を決める。

習慣107 答えられなかったことを、次に確認する仕事として残す

習慣109 明日、最初に取りかかることを書き留める

13場面で扱う、対象の行動

企画職研修｜全45行動。各場面の一文と、採用した習慣を確認できます。

13 想像する

利用者や実施者の反応から背景と自分の前提を問い直し、新たに役立つ企画を考える。

習慣111 相手の反応を、起きたこととして書き留める

習慣112 相手の言葉や動きから、その背景にある状況を考える

習慣113 相手が次に説明や判断をする場面まで考えて返す

習慣114 次の対応で伝えるとよいことを、書き留める

習慣115 相手を想像して生まれた問いを、書き留める

13 想像する（続き）

習慣116 自分が当然と思っていた前提を、一文にする

研修担当者が、実施前に確認すること

企画の段階で、育成課題・実践する機会・研修後の確認方法をそろえます。

01 対象者の役割と、身につけてほしい行動を決める。

02 事前アセスメントの案内と、職場で試す機会を準備する。

03 2回の研修日と研修間の実践期間を決め、2回目終了直後の回答時間を確保する。

04 個別診断と全体提案を受け取り、次の支援を決める。

このコースの内容・アセスメント

https://habit-practice-training.kohbata.chatgpt.site/course/planning

関連する67本の学術研究

https://habit-practice-training.kohbata.chatgpt.site/research

研究ページ「上位5%の人の一日」

https://knowledge.requestgroup.jp/guide/ace-day

実施条件の相談

https://requestgroup.jp/request